

- 2月23日(火) 15:30~17:00
- 同窓会館(時習館) 多目的ホール
- 記録 首席

- ・出席者 (協議会委員) PTA会長 学識経験者
松原市町会連合会会長
(欠席) 松原市立松原中学校長 同窓会長 元保護者
(学校・事務局側) 校長 教頭<事務局長> 事務長 首席
総務部長 進路指導主事 教務部長、保健主事、自治会部長
(欠席) 首席1名 図書部長

- 1 開会宣言
- 2 校長挨拶

年3回の協議会の最終。今回は、学校経営計画と学校評価を中心に、ご審議いただきたい。

3 協議

(1) 本年度の学校経営計画及び学校評価について 【資料2】

- ・3の1の(1)のイ (生徒の自学自習時間の確保)
1・2年生平日の平均は90分が目標だが、7月調査では1・2年とも60分台、11月調査では1年がやや伸びたが、依然不十分であった。ただ1月調査では2年が89分となり、学年での取り組みの成果、行事がなくなり学習に集中できる環境となったこと、3年生ゼロ学期が浸透した結果、などにより、やや目標達成に近づいたと言える。また、前回の協議会から提案された 1) 100分の達成率 2) 1時間未満の割合 を評価項目としてあげている。
- ・3の2の(1)のウ (センター試験対策の充実)
センター試験出願率・5教科受験率共に目標より高かった。進学者数・進学率は、結果待ち。受験率は高かったが、得点に関しては厳しい結果が出ている。
- ・3の3の(1)のイ (学習と部活動の両立)
目標60%だが、やや及ばず、生徒達は苦しんでいるようだ。学校行事や部活動の満足度は高いことから、時間のマネジメント・学習習慣を身につけさせることが課題である。
- ・3の4の(1)のア (教員間で授業方法や指導内容の話し合いの機会)
50%を切った。日常の業務が忙しいこと、会議の時間短縮などによる時間確保が課題である。

*質疑応答

- 学習時間、1年に比べ2年が低かったのを立て直したのは良かった。各学年の特徴があるのか。
- ◆3年は、1・2年次から勉強はしていたが、志望が高くなかった。3年になってからも上位層が高望みをしない。特にセンターは数学・化学が悪かった。弱点だったのがそのまま結果に出た。文系は順当に得点し、出願も順当に出ている。2年は、1年後半から落ち込み、テコ入れをしたかった。行事がなくなり、学年集会・講演会・模試を通して、これからスタートをしてほしい。1年は、今低迷期である。できるだけ落ち込みを少なくしたい。
- 1・2年の勉強量は、まだ少ないか。
- ◆落ち込みを少なくしたい。

(2) GLHS事業の評価シートについて 【資料3】

- ・プレゼンテーション能力の向上では、英語による発表の機会が増え、見学生徒の満足度も高かった。外部での発表の機会も増え、大学・学会、それに台湾・オーストラリアでも発表を行うようになった。
- ・異文化理解教育では、今年初めてオーストラリアから本校訪問があり、台湾へも研修に行くことになった。

- ・センター試験の受験者割合・得点目標については、先ほどの通りである。
- ・TOEFLiBTに関しては、来年度よりSETが配置され、文理学科クラスに授業を行っていく。先進他校では、SETによる授業で成績を伸ばしたとの情報有り。
- ・英検2級取得率は、結果待ちである。1次合格は去年以上である。
- ・10校共通の取り組み目標である国公立大学現役進学者数・海外大学進学者数の目標は、本校では設定をしていない。

***質疑応答**

○TOEFLiBTとは？目標設定は高いのか。

◆正式な英語資格検定試験のこと。前教育長の肝煎りの事業である。

○その目標とは。

◆今年チャレンジ講座に30数名が参加している。非常に難しいテストである。コンピューターを使っただけのテストで、120点満点の平均10点台や一桁の点数もあるくらい難解であり、80点あればアメリカの大学に進学できるレベルである。

○大学生でも難しいテストである。

◆本校の最高で、34点。他校では60点も出ている。

○あまり無理をしなくてもいい。楽しくないといけない。委員会との関係もあるだろうが。

○お互いに授業を見学することが忙しくてできないのか。他に理由はあるのか。

◆外部の授業力向上に関する研修会には積極的に参加しているが、校内でとなると進まない。

○共通認識あれば上がるのでは。

○ALやっていないとダメなようなイメージがある。やっていますというパフォーマンスでは効果と結びつかない。大学でもやらなければならないという指示が出ている。

(3) 学校教育自己診断結果について【資料4】

- ・生徒のアンケートでは、向学校性は高く、学習との両立が低い、という例年の傾向である。
- ・勉強に対する価値観はあるが、予習ができていない。
- ・学校行事、学校には楽しくやりがいを感じている。
- ・家庭学習、生活リズム、部活動との両立があまりできていない。時間がないからという理由なのか。しかし、本校の平日最終下校時間は6時30分であり、最低でも1、2時間は家庭学習ができる時間はあるはず。一概にクラブが原因とは言い切れない。スマホに時間を取られているのではないかと考える。
- ・「尊敬できる先生がいる」は高い数値なのはいいことである。
- ・「自分は生活リズムが確立していないが、他人はできていると感じている」が高いのは、自信の低さか、自己に厳しいのかのどちらか。
- ・先生は指導計画を細かく伝えてはいるが、家庭学習に役立っていないのは、宿題に手が回っていないことか。

***質疑応答**

○予習ができていない。スマホが原因か。何か対策は。保護者に担任や学校から何か指導をしているか。

◆ルールについてはやっていない。携帯の使用については入学時より事あるごとに指導はしている。

○保護者によって考えはバラバラ。データを示してルール作りなどしては、学校でできないのであればPTAからでも提案する。

◆そこまで指導が必要か。それよりも、勉強をするようにし向ける必要がある。

○人権侵害につながるケースもある。いいデータがあるので有効活用してほしい。

◆クラブの影響か。両立できていない。

○勉強の必要性の自覚はあるができていない。

○難しい。クラブもやってほしい。生徒のアイデンティティ確立にもなるので。

○いいデータを活かせばいい。自己診断結果をそのまま出すのではなく、切り取ったり、もっと丁寧に分析をして

保護者に出すべき。

○保護者は、校報よりホームページの方をあまり見ていない。何か理由は。

○進学させて良かったが、意識の高いことを続けてほしい。保護者の要求水準も高くなってきている。PTAは学校の味方である。説明など学校と保護者の架け橋になりたい。

(4) 第2回授業評価の結果について【資料5】

・第2回目は、12月なので第1回よりも緊張感の低下が見られる。3年は高止まり、1・2年は、中だるみ対策が必要である。

(5) 平成28年度学校経営計画について【資料6】

・2の1の(1) (アクティブラーニングの視点)

ペアやグループといった型式だけではなくて、教材研究から変えていかなければならない。

・2の1の(1) (家庭学習時間の確保)

1年からの学習時間の確保を、1年生の始めに習慣を身につけさせる対策を求めている。

・2の2の(1) (進学実績の向上)

国公立大学進学率を、現役プラス一浪で60%以上とした。前回の協議会より、現役にこだわる必要なしとの指摘あり。

・2の3の(2) (年間の遅刻数目標)

今年は高い数字で達成をした。来年度も高い目標を維持する。

*質疑応答

○遅刻数1500は、多いのかどうかわかりにくい。1日何人にすればどうか。

◆少ない学校もあるが、放っておくと3000から4000になっていく。

○自分の希望の大学へ進学しているのか。

◆4・8・11月に希望アンケートしている。4月の希望通りということなら約半分になる。4月のほとんどは国公立志望であり、半分は私学進学となる。

○厳しい時代なのによく頑張っている。成果を出さないといけない。目標を高く持つて。

○今回は出席2回目で、前回は何も分からなかった。今の生徒と職員間にギャップがあることが分かった。

○このままいい高校であってほしい。

4 閉会宣言

5 事務連絡

今年度、当協議会ありがとうございました。

来年度の当協議会の委員の皆様には、事前に連絡させていただきます。

本日はありがとうございました。